

みずほCustomer Desk Report 2023/03/15号 (As of 2023/03/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.22
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.07	1.0724	142.69	1.2165	0.6656
SYD-NY High	134.90	1.0750	144.40	1.2203	0.6696
SYD-NY Low	133.03	1.0679	142.55	1.2139	0.6633
NY 5:00 PM	134.23	1.0733	144.03	1.2160	0.6683
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,155.40	336.26	日本2年債	▲0.0400%	▲0.0100%
NASDAQ	11,428.15	239.31	日本10年債	0.2600%	▲0.0400%
S&P	3,919.29	63.53	米国2年債	4.2442%	0.2315%
日経平均	27,222.04	▲610.92	米国5年債	3.8461%	0.1652%
TOPIX	1,947.54	▲53.45	米国10年債	3.6835%	0.1405%
シカゴ日経先物	27,285.00	50.00	独10年債	2.4520%	0.1790%
ロンドンFT	7,637.11	88.48	英10年債	3.4700%	0.1075%
DAX	15,232.83	273.36	豪10年債	3.4080%	▲0.1130%
ハンセン指数	19,247.96	▲448.01	USDJPY 1M Vol	12.93%	▲1.12%
上海総合	3,245.31	▲23.38	USDJPY 3M Vol	12.64%	▲0.58%
NY金	1,910.90	▲5.60	USDJPY 6M Vol	11.86%	▲0.42%
WTI	71.33	▲3.47	USDJPY 1M 25RR	▲1.40%	Yen Call Over
CRB指数	261.08	▲3.59	EURJPY 3M Vol	11.94%	▲0.45%
ドルインデックス	103.60	0.00	EURJPY 6M Vol	11.60%	▲0.34%

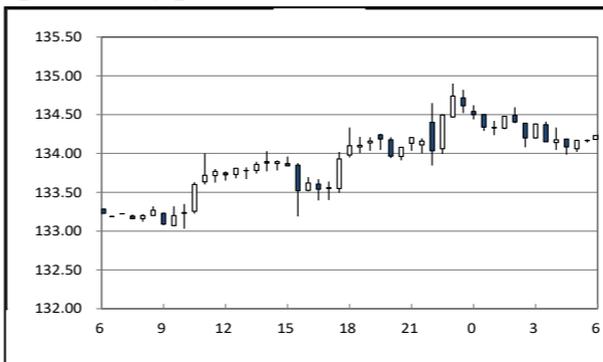
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
3月14日	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	1月	6.5%	6.6%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	2月	0.4%/6.0%	0.4%/6.0%

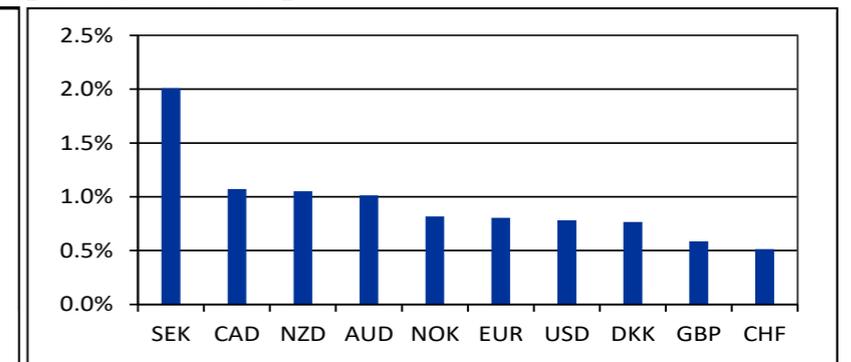
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
3月15日	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	2月	0.9%/6.2%	0.9%/6.2%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月	0.3%	-1.1%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月	0.3%/5.4%	0.7%/6.0%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	3月	-7.9	-5.8
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	2月	-0.4%	3.0%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	2月	-0.1%	2.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.50-135.00	1.0650-1.0800	143.00-145.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間で上昇した。米2月CPI発表では、コア(前月比)が若干予想を上回るも、全体的には大方の予想通り鈍化傾向が確認されたことでドル売りが強まる局面あるも、米株寄付高を受けて円売りが強まると、ドル円は一時135円手前まで上昇。その後は米無人機・ロシア戦闘機の衝突の報道を受けた地政学リスクの高まりに、リスクオフの円買いが強まりドル円は133.99まで下落後、134.23で引けた。
本日のドル円は堅調推移を予想する。米利上げ停止の思惑の発端となった米地銀の経営破綻の影響による金融システムへの不安が着実に沈静化に向かう中、FRBによる利上げ観測が再燃している状況では、ドル円にはしばらく上昇圧力が強まりやすいだろう。また、米経済指標の発表もいくつか控えており、結果次第ではドル買いが加速する展開も想定しておきたい。

東京	東京時間のドル円は133.07レベルでオープン。米金利低下に一服感が見られ、米地銀の経営破綻に端を発したリスクオフの動きが多少後退。これを受けてドル円は底堅く推移したが、134円ちょうど付近では上値重く、その後はクレディスイスの「重大な脆弱性を特定」とする財務報告を巡るHLに米金利低下、ドル売りが強まる流れにドル円は133円台前半まで値を戻した後、133.52レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は133.52レベルでオープンし、米金利の上昇とともに134.33円まで買われる。前日にリスクオフで売られた欧州株も一転して堅調で、午後に米2月CPIを控えたドル円は134円を背に上下した後、結局134.11レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米銀の破綻騒動が一旦落ち着いてきているとの見方から、リスクオフの動きに海外市場でクロス円が上昇したことから、ドル円は下値を切り上げ134.33まで戻し、134.11レベルでNYオープン。朝方は注目の2月CPIコア(前月比)が若干予想を上回り、134.60まで上昇するが、これは2月の結果であって、地銀破綻が強まった今、来週のFOMCでの利上げ予想を据え置きに変更する金融機関が増えたことから、注目材料にならないとの見方から133.93まで反落する。しかし株式市場が大幅に上昇して寄り付いたことから、円売りに134.90まで上昇する。その後は米金利が上昇し、株式市場が上値を重くする中、午後に入りロシアの戦闘機が米空軍無人機と衝突との報道を受け、株式市場が上昇幅を縮小し、ダウがマイナスイ圏へ下落する動きにドル円は133.99まで下落する。終盤に掛けては株式市場で買い戻しが強まったことからドル円も下値を切り上げ、134.23レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場で一旦1.0679まで下落する局面もあったものの、ユーロ円の買いに連れ高となり、1.0722レベルでNYオープン。朝方は米CPI結果を受け、1.0693まで下落するが、その後ドルが売られたことから1.0748まで戻す。利益確定の売りに1.0698まで反落する局面もあったものの、ユーロ円が高値圏で推移する中1.0750まで戻し、1.0733レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・大橋